

三豊市立豊中小学校（仮称）の「校章デザイン」選考結果

応募作品（得票数順）	図案の趣旨	得票数
最優秀作品	<p>5人の子ども（5校）が共に手を取り合って輪となり、それぞれの歴史や伝統をつなぎながら育むイメージをシンボル化した。また、皆の頭の上に「！」を配置し、生徒たちの「気づき」や「発見」を最大化する意味を込めている。桜の木の下に人が集まるように、この桜の校章をもとに「あれ手を繋いでる絵あるらしいよ」「よく見たら！がついてるね」などつつい意味を語りたくなる、生徒や地域をつなぐ学校となる事を目指す。伝統的な雰囲気＋シンプルで時代に対応し廃れないデザインにする。※常に変わらない事（永久不変）という意味のある「常盤色」で表現。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">作者：竹内律紀（東京都在住）</p>	8
優秀作品		<p>三豊市の木「桜」の花の中に、豊中小学校の略称となる「と・小」を入れ込んで、図案化してみた。「小」は児童の未来への羽ばたきが連想できるように、飛鳥のイメージにしている。色使いとしては、桜色に水と緑の郷土を思わせる青と緑を組み込んでいる。統合する五つの小学校ががっちりスクラムを組んで、協調協力していくイメージだが、地域の想いに繋がるデザインになることを祈っている。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">作者：小野寺満（岩手県在住）</p>
優秀作品	<p>町花である芙蓉の5枚の花びらを伝統ある5校の小学校の統合を表現した。ひらがな”とよ”は柔らかく親しみやすいイメージで子ども達が優しく愛にあふれた人に育ててほしいという願いを込めた。また、”とよ”は豊かな自然の中で育つぶどうの紫色を取り入れた。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">作者：今川敬子（市内在住）</p>	

応募作品	図案の趣旨	得票数
<p data-bbox="277 259 395 293">優秀作品</p> 	<p data-bbox="571 282 1337 622">花は豊中町の花「フヨウ」で、5校の花弁が統合される5校の歴史と伝統を表現し、それらを引き継ぎ、新たな豊中小学校(仮称)で「フヨウ」の様に大輪の花をたくさん咲かせる小学校にしてもらいたい。また、校章デザインを左右対称、背景色を豊中町の木「キンモクセイ」の花の色(オレンジ)にすることで、「素直で裏表がなく、謙虚かつ繊細で美しい豊かな心」をもった子ども達に育ててもらいたいとの願いを込めたデザインとして作成した。</p> <p data-bbox="571 712 970 757">作者：河原哲弘（市内在住）</p>	<p data-bbox="1401 495 1425 528">1</p>
<p data-bbox="277 808 395 842">優秀作品</p> 	<p data-bbox="571 831 1337 1256">外部の五角形は合併前の5校を表しており、5校が支え合って1つの形をつくることで、立派な豊中小学校をつくりあげてほしいという願いを込めた。また、五角形の中にはローマ字でTOYOUをデザインし、現代風なおしゃれでデザイン性を高めた令和の時代にふさわしい校章となるようにした。五角形を正五角形とせず、あえて辺の長さを変え、ダイヤモンド形にした。ダイヤの原石の様に価値があり、県内の多くの小学校の中でもキラリと光る特色あるみんなが通いたくなる学校になってほしいという思いを込めてデザインした。</p> <p data-bbox="571 1312 999 1357">作者：近藤亜由未（市内在住）</p>	<p data-bbox="1401 1055 1425 1088">1</p>

1. 三豊市立豊中小学校（仮称）の「校章デザイン」選考

応募作品75点に対し、選考委員9名で3月9日に選考を行いました。3次選考まで行い、上記5点を選定しました。その中で得票数の最も多かった作品を最優秀作品とし、他4点を優秀作品としました。

2. 記念品贈呈

最優秀作品、優秀作品の作者には記念品を、その他の応募者には参加賞を贈呈いたしました。

3. 公表

選定（案）を地域協議会、教育委員会に報告し、承認いただきました。また、ご本人から作品と作者の公表に対する許可をいただきました。

4. 各作品の補正等

作品の補正及び著作権の調査を行いました。